

例年になく暖かい冬でしたが、1 月末には美しい雪景色が広がり、自然の彩り豊かな勝田中学校も一面の白い世界となりました。



3 学期は、一日一日がとても早く過ぎていく気がします。生徒たちもこの 1 年間の成長が、背丈やしっかりしてきた表情だけ



ではなく、学力や心構えにも表れているようで、頼もしさすら感じる時があります。中学校という集団生活の中で学ぶことの意義は大きいと、改めて感じる日々です。

中学校の正門を入ったところの植え込みが『立志』ということばに整えられています。私の中学生の頃は、中学 2 年次に「立志式」がありました。昔で言えば、数え年 15 歳で迎えた「元服」。大人になるための自覚と責任を持って、自らの将来に“志”を立て、勉学に励もうという趣旨で行われていました。平素、緑で縁取られたこの文字が、白い雪で一層、美しく浮き上がりました。人生の中で、中学校という短い 3 年間に生徒たちが学ぶことや考えること、身につけることはとても大きいです。3 年間の人間的成長は、桜の伸びやかな枝が青空に広がっている様子に似て、大人の思う以上に豊かで幅広いものです。その意味で、この 3 年間は個々の生徒たちの人生観に多大な影響を与える時期でもあります。3 年間で持つ重大な責任を痛感しながら、日々の教育を丁寧に誠実に、根気強く積み重ねていかなければならないと思っています。

自転車鍵かけコンテスト表彰式

1 月 27 日（水）午後 2 時半より、岡山県庁 3 階特別応接室で、伊原本隆太岡山県知事さんから、自転車鍵かけコンテスト優秀賞の表彰をしていただきました。県下 20 校の中・高校が表彰され、本校からは生徒会長の唐澤賢汰さんが代表で受賞に行きました。本校生徒たちが毎日のあいさつ運動の後、地道に取り組んだ成果を認めていただき、本当にうれしい表彰でした。そして、コンテスト終了後の今も継続して自転車の鍵かけ習慣化に取り組んでいる生徒会に、私自身も誇りを感じています。



また、県下 20 校の中学校・高校の代表が集う表彰式。参加者全員のりりしく、さわやかな態度や気持ちのよい返事にも、胸を打たれました。唐澤賢汰さんもリーダーとして学ぶこと大だったと思います。この得がたい経験を、勝田中学校生徒会に生かして、『自信と誇り』のもてる勝田中学校を全員で創り上げていきましょう。

“スマホ三ヶ条” 守っていますか？



生活ノートの記録によると、生徒たちは 10 時以降のスマホ等メディアの使用を控えているようです。ご家庭でも、生徒たちのセルフコントロールをしっかり見守って下さい。

“かつたっ子 15 の春プロジェクト” 交流

3 学期も、勝田中学校と校区内の 3 小学校、勝田ひまわり園、それぞれの子どもたちがいろいろな機会を通じて交流する場面がありました。

生徒会がお願いに行きました

まずは、生徒会の「書き損じハガキを集めて、カンボジアの地雷撤去を支援しよう！」の取組。生徒会三役が、勝田ひまわり園・勝田東小学校・梶並小学校に協力のお願いに行きました。勝田小学校には 3 月に伺う予定です。「グローバル」の視点をもって、勝田という地域から広い世界を知り、社会貢献できることを探す生徒会の取組から始まった「書き損じハガキ回収」です。



勝田ひまわり園へ

1 月 26 日（火）

生徒会長 唐澤賢汰さん



勝田東小学校へ

2 月 1 日（月）

生徒会副会長 鷹取侑也さん

梶並小学校へ

2 月 8 日（月）

生徒会長 唐澤賢汰さん

勝田小学校

へは 3 月 7 日

にお願いに行

く予定です。

生徒会執行部手作りの回収箱と、「書き損じハガキ回収」がどのようにカンボジアの地雷撤去に役立つのかという説明を書いたチラシを持って、各校・園にお願いに行きました。書き損じハガキ（投函されていないもの）や未使用の切手が、カンボジアに今も残されている多くの地雷を撤去するために役立ちます。命を危険にさらす地雷を一つでも多く撤去できるよう、ご家庭の皆様もご協力をよろしくお願いいたします。

一足早く、中学生体験

2 月 5 日（金）6 校時に、勝田小学校・梶並小学校・勝田東小学校 6 年生が本校視聴覚教室で英語の授業を体験しました。



4 月から中学生になる 6 年生が、一足早く中学校の英語の授業を受けました。まずは、“Who is this ?” を使ったアクティビティ。6 年生たちも、伸び伸びと英語を使って対話ができました。



続いて、アルファベットの大文字を学びました。アルファベットにも筆順があることにびっくりした人もいたでしょう。集中して一気に練習をすることができました。全員が、確実にアルファベットの大文字を覚えるために、2 月中に練習する課題を持ち帰りました。

小学校 6 年の 3 学期、いよいよ中学校に進学する学びの準備、心の構えが整いつつあります。3 月には、6 年生は小学校の復習ワークにチャレンジし、卒業後の時間を小学校の学習の復習と定着に使います。中学校入学後、中学校にワークを提出して、そのワークをもとにした新入生テストを行います。小学校と中学校をつなぐ学びの取組が進んでいます。

迎える中学校 2 年生・1 年生も、6 年生の皆さんの中学校に対する期待や希望を真剣に受け止め、「いいモデル」としての先輩になりましょう。一人でも不安な気持ちで過ごすことのないよう、自分たちができることをしっかり積み上げていきましょう。

真剣に臨む新 1 年生 入学説明会

2月12日（金）14時から平成28年度新入生と保護者の皆
様を対象に、入学説明会を行いました。5日の英語授業の課題を



提出した人もいて、中学校での新
生活を頑張ろうという真剣な気持
ちが伝わってくる会でした。



生徒会執行部も、部活動や行事について説明。先輩として後輩達
を温かく迎える気持ちを伝えました。中学校の授業も参観し、本気
で学んでいる中学生の姿を見ていただくことができました。

勝田中学校へのご入学を、全員でお待ちしております。

産官学ケータイ教室

2月19日（金）5校時
に兵庫県立大学から2名の学生さんが来校。

「ケータイ・スマホ賢く使いこなそう」を
テーマに授業をしてくださいました。山陽
新聞社主催の「OKAYAMA スマホサミット」



に参加した大学生で、兵庫県立大学の竹内和雄准教授の研究会に所属する方々です。

かつたっ子15の春プロジェクトの一環で、午前中には勝田小学校でも授業をしてこられたお二
人は、若い世代の暮らしと直結しているスマホの危険性と賢い使い方について指導してくださいま
した。中でも、投稿に関わるトラブル3例を中心に動画を使って分かりやすく説明。生徒たちは、
自分の年齢に近い学生さんから「文字のコミュニケーションには、相手のことを考えた想像力や思
いやりが必要だ」ということを学び、身近で深刻な問題であるネットの闇について真剣に考える機
会を得ました。小学生から中学生にかけての時期に、こうした子どもとネットとの関わり方につ
いて学習を深めることは、これからますます発展する情報社会を安全に生き抜くために、とても重
要なことです。生徒たちには、使用時間も含めてスマホ依存にならないための習慣形成を自ら意識し
て生活するよう指導しています。ご家庭でもしっかりご指導いただき、さまざまなネットトラブル
を防いでください。

なぜ、本を読むの？



2月22日（月）3校時に、岡山県内の
図書館コンシェルジュの先生方2名にブック
トークをしていただきました。思春期の中学生



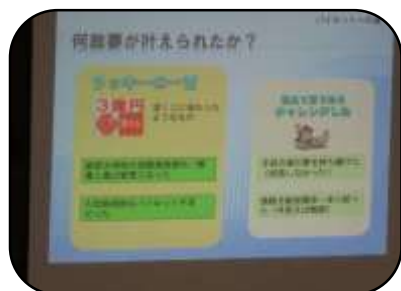
にとって、読書が人生にどう関わっていくか、自分の人生観や感受性をど
う豊かにしていくか、といったことを視点にしたブックトークでした。イタリアの昔話『みどりの
小鳥』より、猿の魔法をかけられた王女様のお話を読み聞かせしていただきました。また、ケスト
ナー作『飛ぶ教室』の紹介と一部朗読も聞きました。読書は、自分の知らない世界を切り拓き、人
生を豊かなものにしてくれます。ケータイ教室と同様、勝田小学校でも午後にブックトークが行わ
れました。これも、小学校と中学校の学びをつないでいます。

夢講座

夢だったパイロット

元全日空機長 倉内史家さん

2月29日(月)13時50分より、かつた市民センターにて、かつたっ子15の春プロジェクトの夢講座を開催しました。夢講座は、かつたっ子が自分の将来に夢を持ち、夢を叶えるために努力をすることの大切さを実感するために設けた講座です。人生の先輩方から、夢を叶えるために歩んだ道や、いろいろな職業のお話などをうかがうことで、改めて「自分の夢は何だろう?」「夢を叶えるためにどうしたらいいのだろうか?」「こんな道もあるのだ」といったことを考えてみるきっかけにしたいと考えて企画。3小学校の5,6年生と本校全校生徒でしっかり耳を傾けました。



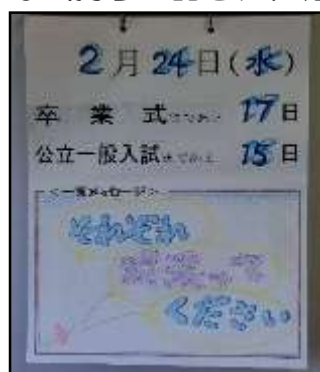
講師は、美作市榎原中のご出身で元ANA機長を務められた倉内史家さんです。パイロット人生で乗務した機種やラストフライト前のビデオ視聴などがあり、生徒たちもプレゼン画面に集中。続いて、「パイロットへの道」「何故夢が叶えられたか?」をお話ししてくださいました。パイロット免許や勤務、航空豆知識など、未知の世界のお話は興味深いものでした。

少し難しい部分もありましたが、約70分間、小・中学生が共に小学生の時から夢を実現した方のお話をうかがえたことは、貴重な体験でした。ご講演の途中から、美作市議会初日というお忙しい日程をぬって、萩原誠司美作市長さんが来てくださいました。勝田の子どもたちに夢を実現することの意味を改めて問いかけてくださいました。小学生・中学生ともに、聞く態度が大変よいことに感心しておられ、閉会のあいさつでもほめていただきました。本校生徒の感想を読んでも、しっかりとお話のポイントをつかみ、自分たちの将来に結びつけて聞くことができていたことがよく分かりました。幅広い経験を重ね、夢を切り拓いていくかつたっ子を育てます。なお、倉内さんは謝金を子どもたちのために寄贈して下さいました。有効に活用させていただきます。



感謝の気持ちを込めて

保健体育委員会が勝田給食センターに毎日おいしい給食を作って下さったお礼のメッセージを贈ります。3年生は、小・中学校9年間の感謝の気持ちを込めてメッセージを書いています。生徒たちの素直な気持ちが記され、給食もいよいよ卒業の日を迎えようとしています。



旅立ちを祝う

3月12日(土)9時30分より、本校体育館において美作市立勝田中学校第44回卒業証書授与式を挙行いたします。3年生の教室には1,2年生手作りのカウントダウン日めくりカレンダーが、残り少ない3年生の中学校生活を大切に刻んでいます。勝田中全員で、新たな旅立ちを祝福します。